

■ 会社の概況

商号 丸善CHIホールディングス株式会社  
(Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.)  
本社 〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町31番地2  
代表番号 03-5225-8787  
URL <http://www.maruzen-chi.co.jp>  
設立 2010(平成22)年2月1日  
資本金 30億円  
事業内容 書籍及び雑誌等の販売、学術情報その他情報提供サービス業、並びに図書館運営受託業務及び図書館等の教育施設の運営代行、建築工事の設計・監理及び請負業、図書、雑誌の出版業等の事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理 他

■ グループ会社

- ◆ 丸善株式会社  
〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
- ◆ 株式会社図書館流通センター  
〒112-8632 東京都文京区大塚3-1-1
- ◆ 株式会社丸善ジュンク堂書店  
〒160-0008 東京都新宿区三栄町29
- ◆ 株式会社雄松堂書店  
〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町10番10号
- ◆ 丸善出版株式会社  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階
- ◆ 株式会社hontoブックサービス  
〒141-8001 東京都品川区西五反田3-5-20 DNP五反田ビル11階

■ 役員

代表取締役社長	中川 清貴	取締役(社外)	橋本 博文
専務取締役	松尾 英介	取締役(社外)	茅根 熙和
取締役	石井 昭	常勤監査役(社外)	栗林 忠道
取締役	新田 満夫	監査役(社外)	峯村 隆二
取締役	山崎富士雄	監査役(社外)	小堀 秀明
取締役	工藤 恭孝	監査役(社外)	大胡 誠
取締役	五味 英隆		

株主優待として、  
商品券を同封しております※

毎年7月31日現在の保有株式数に応じて、全国の丸善、ジュンク堂書店の店舗①でご利用いただける商品券を、年1回、9月下旬にお送りしております。

※100株(1単元)以上保有されている株主様が対象です。

よくあるご質問

- Q おつりは出ますか?  
A 申し訳ございませんが、おつりはお出ししておりません。額面以上でのご利用をお願いいたします。
- Q 有効期限はありますか?  
A 有効期限はございます。ご送付の翌年11月末日まで有効です。

① 詳細は以下をご覧ください。

- 商品券に同封の「ご利用店舗一覧」
- 当社ホームページ  
株主優待のページはこちら↓  
<http://www.maruzen-chi.co.jp/ir/yutai.html>



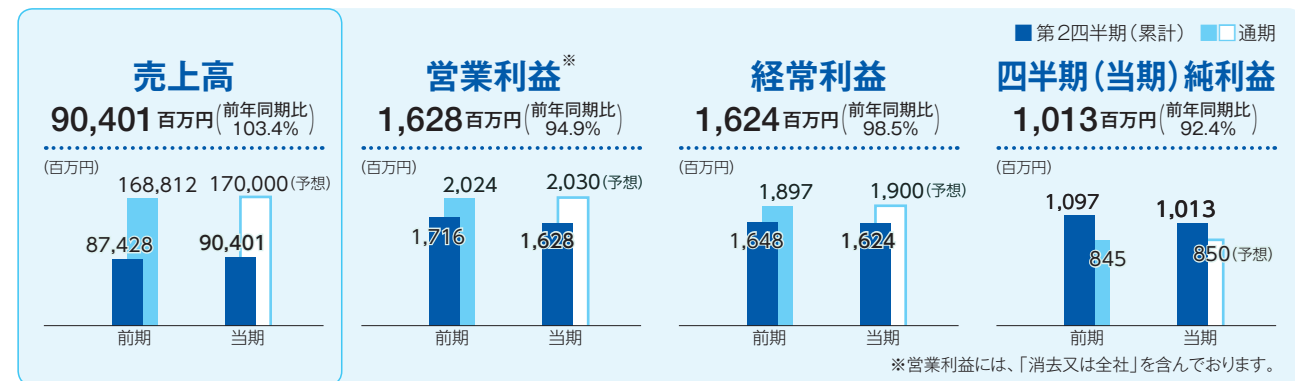
この報告書は、FSC® 認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しております。



BUSINESS REPORT

株主・投資家の皆さまへ

第6期(第2四半期累計) 2015.2.1 - 2015.7.31



文教市場販売事業 37.6%

売上高 33,984百万円(前年同期比 103.0%)  
営業利益 1,375百万円(前年同期比 95.9%)

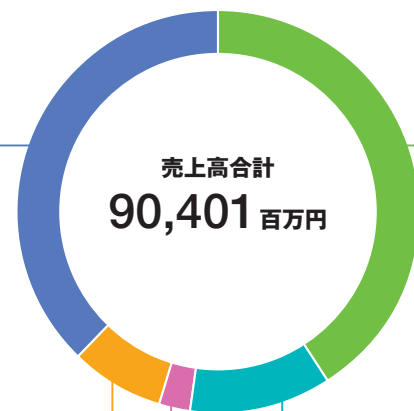
●教育・研究施設、図書館などの設計・施工案件が増加した結果、売上高は増収となりましたが、大学及び研究機関向け書籍等販売事業において、円安の影響により外国雑誌の利益率が低下したこと、また専門性が高く比較的利益率が高い古書等の売上が減少したこと等により、営業利益は減益となりました。

その他事業 7.6%

売上高 6,873百万円(前年同期比 129.4%)  
営業利益 366百万円(前年同期比 246.9%)

●Apple製品・パソコンの修理サービス等業務においては順調に売上高を伸ばし、また総合保育サービスの(株)明日香を前年第3四半期より連結対象に加えたこともあり、売上高は増収となり、営業利益は増益となりました。

売上高構成比



店舖・ネット販売事業 41.0%

売上高 37,075百万円(前年同期比 99.7%)  
営業利益 △28百万円(前年同期比 →)

- 売上高は若干の減収となり、加えて新規開店に伴う初期費用及び店舗改装費用の計上もあったことから営業損失となりました。
- 店舗は4店を開店し、5店閉店しており、当第2四半期末時点で97店舗となっております。(内、4店は「MARUZEN」「ジュンク堂書店」の店舗名ではありません)

図書館サポート事業 11.3%

売上高 10,175百万円(前年同期比 107.0%)  
営業利益 934百万円(前年同期比 92.8%)

●図書館受託館数は、期初878館から157館増加し、当第2四半期末時点では、1,035館となり順調に推移しております。その結果、売上高は増収となりましたが、新規受託館の準備費用及び人件費の上昇等によりコストが増加したため、営業利益は減益となりました。

出版事業 2.5%

売上高 2,292百万円(前年同期比 94.4%)  
営業利益 213百万円(前年同期比 72.4%)

●専門分野として『サイエンス・パレット「幹細胞と再生医療」』、『こいぬが いっぱい わんわんわん!』など、合計新刊158点(前年同期163点)を刊行いたしました。新刊刊行遅れ及び映像メディア商品の取引減少等の影響で、売上高は減収となり、営業利益は減益となりました。



丸善CHIホールディングス株式会社  
代表取締役社長

中川 清貴

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
まず弊社グループの平成28年1月期第2四半期累計業績につきまして、ご報告申し上げます。売上高は、図書館サポート事業や教育研究施設の設備施工部門が順調に推移したこと、また連結対象子会社に(株)明日香が加わったことなどにより増収となりました。

一方、円安による研究者向け輸入雑誌の利益率低下、図書館サポート事業で人材を安定的に確保するための人件費増加、また書店のスクラップ&ビルドを進めたことから出店・改装コストが増加いたしました。

これらの要因から、弊社グループの当第2四半期累計売上高は、904億1百万円(前年同期比3.4%増)となりましたが、営業利益は16億28百万円(同5.1%減)、経常利益は16億24百万円(同1.5%減)、四半期純利益は10億13百万円(同7.6%減)となり、当第2四半期の業績は増収減益となりました。

弊社グループでは、「書店収益力の改善」「大学向け事業の構造改革」「図書館を核とした地域活性化への貢献」の三つを主要な成長戦略として取り組みを進めております。

「書店収益力の改善」では、業務効率化と弾力的な店舗運営のため事業会社2社を統合し、(株)丸善ジュンク堂書店を期初に設立しております。また、名古屋本店など4店を開店、小規模店を中心に5店を閉店したほか、グループ書店物流倉庫である書籍流通センターの取扱量を増強するなど、今後の効率性・収益性の向上のための取り組みを進めております。

「大学向け事業の構造改革」では、本年8月26日に発表いたしましたとおり、平成28年2月1日をもって丸善(株)と(株)雄松堂書店を経営統合し、両社の強みを融合することで、より付加価値の高い商品・サービスの提供に努めてまいります。

「図書館を核とした地域活性化への貢献」としては、人材の充実や外部アライアンスを進めるとともに、埼玉県桶川市において市立図書館の運営受託とあわせ、図書館と同じ施設内に書店を出店し、さらにイベントスペースも設置してその企画運営も担うことで、グループ一体となって地域文化の発展に貢献するべく取り組んでおります。

弊社グループではこれらの施策を進めることで収益力を高めるとともに、「知は社会の礎である」の経営理念のもと、社会に真に必要な企業集団として成長をしていく所存です。株主・投資家の皆さまにおかれましては、引き続きご指導とご鞭撻を賜りたく、お願い申し上げます。

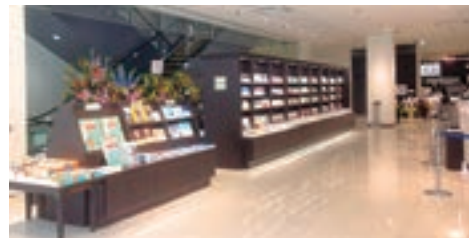
## 丸善ジュンク堂書店

### 丸善 名古屋本店、 丸善 京都本店オープン!

丸善の前身「丸屋善八店」が1874(明治7)年に名古屋の地に開業してから141年の歳月を数えた今年「丸善 名古屋本店」を4月28日にオープンいたしました。

東海地区最大級の売場面積(1,474坪)で、地下1階から7階まで全8フロアの和書及び洋書の蔵書数は約120万冊におよび、名古屋地区では随一の路面店になります。

文具売場も1階の一部と2階まで大きく展開しており、とくに1階では厳選した革製品などの雑貨を中心に、品質第一の丸善ならではの商品ラインナップとなっております。



【丸善 名古屋本店】



京都丸善カフェ限定の「檸檬ケーキ」

【丸善 京都本店】

さらに8月21日には、京都地区最大級の大型複合書店「丸善 京都本店」をオープンいたしました。

丸善京都店は、1872(明治5)年「丸屋善吉店」として二条通柳馬場東に開業。梶井基次郎の小説「檸檬」の舞台となった京都支店は、1907年に三条通麩屋町に再開設し、その後河原町通蛸薬師へ移転をいたしました。2005年に惜しまれつつ閉店。その後たくさんのお客さまに再開店のご要望をいただき、このたび10年ぶりに河原町に戻ってまいりました。

約1,000坪の売場面積には和書100万冊と洋書7万冊、約2万8千アイテムの文具商品を揃えたほか、早矢仕ライスを提供する「丸善カフェ」も併設いたしております。

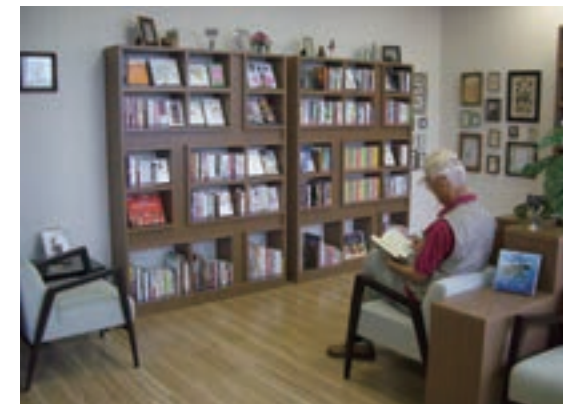
両店舗ともに、地元のお客さまのみならず、当地を訪れるお客さまに喜ばれる店となるよう、一層のサービスに努めてまいります。

## 丸善

### 全国で初めての 病院内ブックカフェをプロデュース

丸善株式会社のショップ・システム・プロデュース事業部(SSP事業部)は、今年7月1日に、新潟市西区の済生会新潟第二病院に、カフェスペースと図書館機能を備えた、病院内では日本初となる「Café & library」をプロデュースいたしました。

これは、全国の病院内売店・カフェを手掛ける株式会社光洋とのコラボレーションにより、同病院の考える「病院を訪れた人が誰でも寛げる空間」を実現したものです。SSP事業部が書店や様々な商業施設で培った空間デザイン力に加え、丸善の有する選書・調達力や、図書館蔵書メンテナンス機能など、本に関する総合力とブランド力をご評価いただいたことが受注に結び付けました。



書棚に囲まれた120㎡のカフェスペースには、約50席が設けられ、カフェを利用されない方でも自由に本を読むことができます。また蔵書は、患者さんや病院を訪れる方々が誰でも寛いで過ごせるよう、実用書やベストセラーを中心に児童書や郷土関連図書などをこの「Café & library」のために選書し取り揃えました。オープン後の利用者からは「これまでの病院にはない心地よい空間」と、ご好評をいただいております。

今後はこれをモデルに、病院内「Café & library」として全国に展開していく予定でございます。

## 連結財務データ

### ■ 財政状態 (単位: 百万円)

	当第2四半期末 (2015年7月31日現在)	前期末 (2015年1月31日現在)
総資産	123,845	130,612
●流動資産	88,386	95,179
●固定資産	35,433	35,403
(有形固定資産)	20,624	20,429
(無形固定資産)	1,941	2,565
(投資その他の資産)	12,867	12,409
●繰延資産	24	29
負債	88,628	96,912
●流動負債	65,446	74,121
●固定負債	23,181	22,790
純資産	35,216	33,700
●株主資本	34,311	33,318
●その他の包括利益累計額	△252	△708
●少数株主持分	1,157	1,091

### ■ 損益の状況 (単位: 百万円)

	当第2四半期(累計) (2015年2月1日から 2015年7月31日まで)	前第2四半期(累計) (2014年2月1日から 2014年7月31日まで)
●売上高	90,401	87,428
●営業利益	1,628	1,716
●経常利益	1,624	1,648
●四半期純利益	1,013	1,097

### ■ キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)

	当第2四半期(累計) (2015年2月1日から 2015年7月31日まで)	前第2四半期(累計) (2014年2月1日から 2014年7月31日まで)
●営業活動によるキャッシュ・フロー	9,235	9,747
●投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,155	△1,515
●財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,571	△4,477
●現金及び現金同等物の増減額	△492	3,754
●現金及び現金同等物の期首残高	18,421	12,257
●連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	64
●現金及び現金同等物の四半期末残高	17,929	16,075

## グループ一覧

当社グループは、日本の知の発展のために、紙や電子の垣根を越えて、あらゆる利用者が「必要なときに、必要な形態で」知を得ることのできる快適なプラットフォームを提供してまいります。



## 株式情報 (2015年7月31日現在)

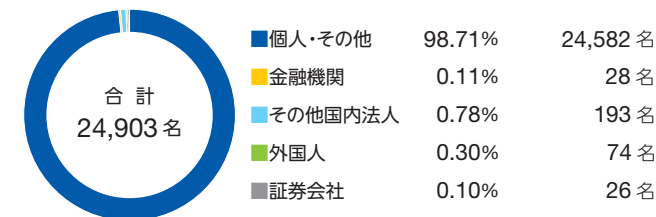
### ■ 株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000 株
発行済株式の総数	92,554,085 株
株主数	24,903 名

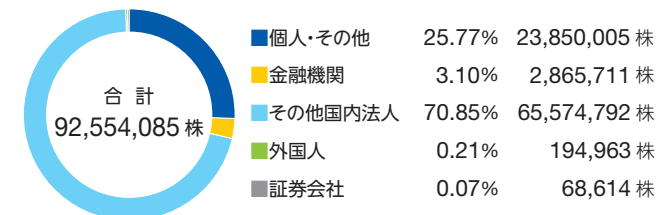
### ■ 大株主一覧

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
大日本印刷株式会社	49,028,336	52.97
工藤 恭孝	7,107,410	7.68
株式会社講談社	4,028,000	4.35
株式会社トーハン	3,694,406	3.99
有限会社宝生堂	3,268,880	3.53
株式会社小学館	2,203,500	2.38
丸善CHIホールディングス従業員持株会	2,177,885	2.35
石井 昭	2,050,426	2.22
新田 満夫	1,950,900	2.10
川村 裕二	928,900	1.00

### ■ 所有者別株主分布状況



### ■ 所有者別株式分布状況



※個人・その他には自己名義株式3,377株を含んでおります。

### ■ 株主メモ

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
基準日	毎年1月31日
株主総会	毎年4月
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告による公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
<公告掲載URL>	<a href="http://www.maruzen-chi.co.jp/ir/notification/index.html">http://www.maruzen-chi.co.jp/ir/notification/index.html</a>
上場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	3159

### ■ 株式事務の取扱場所

株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所 [郵便物送付先] [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 電話フリーダイヤル0120-782-031
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社全国各支店

### ■ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### ■ 単元未満株式の買取制度とは?

市場で売買できない100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却することができる制度です。

